



## 国際シンポジウム

# さまざまな近代：東欧と日本の美術

Modernism in Periphery Art in Eastern Europe and Japan

### プログラム

#### ●10:00-12:00(ポーランド・チェコ)

\* Jerzy MALINOWSKI <イェジ・マリノフスキ>(ポーランド、トルン大学)

Where East Meets West: Polish portraits 1576-1763

(東と西が出会う場所：ポーランド1576-1763年)

○コメント：加須屋明子(京都市立芸術大学)

\* Markéta HÁNOVÁ <マルケータ・ハノヴァー>(チェコ、プラハ国立絵画館)

Japonisme in the Czech art milieu(チェコにおけるジャポニズム)

○コメント：小野尚子(兵庫県立美術館)

#### ●1:30-3:30(ハンガリー・セルビア)

\* 井口壽乃(埼玉大学)「バウハウスのハンガリー人芸術家」

\* 田中真治(神戸新聞)「セーケイ『日本の女』」

\* Simona ČUPIĆ <シモナ・チュピッチ>(セルビア、ベオグラード大学)

Early XX Century Serbian Visual Culture: between

“Europeanism” and “Oriental difference”

(20世紀初頭のセルビアの視覚文化：ヨーロッパ主義とオリエント的要素の間で)

○コメント：鐸木道剛(岡山大学)

#### ●3:45-4:15(日本)

\* 鈴木まどか(倉敷芸術科学大学)

「岡山のデザインと輸出産業」

●4:15-5:00質疑応答

近代を、美術について東ヨーロッパと日本を合わせて考える。いずれも西ヨーロッパ近代の周縁である。近代は周縁(自然)から離陸する。しかし自然を忘れては非人間的となる。グローバリゼーションという均一化の要請のなか、地域(東欧、日本、そして岡山)の周縁性を忘れない「さまざまな近代」を考える。

日時

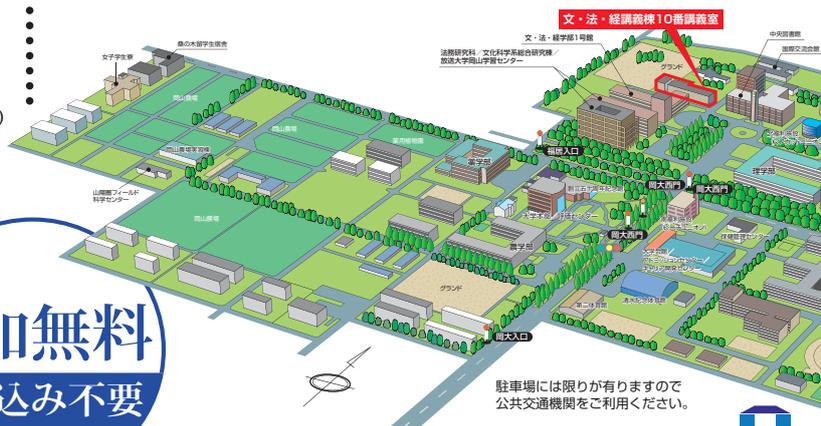
# 2014年 2月28日 [金]

10:00~17:00 [日本語通訳があります。]

場所

## 岡山大学文学部・法学部・経済学部 講義棟1階10番講義室

参加無料  
申し込み不要



駐車場には限りがありますので  
公共交通機関をご利用ください。